



2026 年 8 月 6 日

各 位

会社名 株式会社 enish
住所 東京都港区六本木六丁目 1 番 20 号
代表者名 代表取締役社長 安徳孝平
(コード番号: 3667)
問い合わせ先 管理本部管理本部長 高木和成
TEL. 03 (6447) 4020

SBI Crypto Fund I への出資に関するお知らせ

当社は、このたび、暗号資産運用ファンド「SBI Crypto Fund I」(以下「本ファンド」)への出資を行いましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 出資の背景及び目的

当社は、「アクティブ・トレジャリー事業」の推進を通じて、デジタルアセットを活用した企業価値向上及び新たな収益機会の創出に取り組んでおります。

本ファンドは、暗号資産取引所内でのトレーディングやブロックチェーン上での利回り獲得等を通じた暗号資産運用を目的とするファンドであり、当社は、本ファンドへの出資を通じて、Web3 及びデジタルアセット領域における知見の蓄積やネットワークの形成を図ってまいります。

当社は、本ファンドへの出資を通じて、Web3 領域における知見及びネットワークをさらに強化するとともに、「アクティブ・トレジャリー事業」とのシナジー創出を図り、中長期的な企業価値の向上を図ってまいります。

2. 出資の概要

項目	内容
ファンド名	SBI Crypto Fund I
ファンド形態	匿名組合
営業者	合同会社 SBI Crypto Fund (SBI グループ:51%、gumi グループ:49%)
当社出資金額	5,000 万円

(注) 本ファンドは、暗号資産の運用を通じた収益獲得を目的とする匿名組合であり、営業者は契約に定める運用方針に基づき運用を行います。

3. 本件出資の意義

当社は、本ファンドへの出資を単なる金融投資としてではなく、Web3 分野における戦略的な取り組みの一環として位置付けております。

今後は、本ファンドを通じて得られる投資機会やネットワークを活用し、デジタルアセット関連事業及び「アクティブ・トレジャリー事業」との連携を推進するとともに、新たな事業機会の創出を目指してまいります。また、株式会社 gumi との情報発信及び Web3 分野での協業を通じて、当社の取り組みを積極的に発信してまいります。

4. 今後の展望

当社は、本ファンドへの出資を契機として、国内外の Web3 エコシステムとの連携をさらに強化するとともに、「アクティブ・トレジャリー事業」の推進を通じて、中長期的な企業価値の向上及び持続的な成長を目指してまいります。

今後、新たな取り組みが具体化した場合には、適時適切に情報開示を行ってまいります。

5. 株式会社 gumi 代表取締役社長 川本寛之氏からのコメント

「gumi は 2018 年から Web3 領域に本格的に取り組み、暗号資産ファンドの運営や Validator ノード運用など、多角的に事業を展開してきました。SBI グループとも 2022 年の資本業務提携以降、継続的に連携を進めており、『SBI Crypto Fund I』は、その取り組みの延長線上で誕生したファンドです。

このたび、enish 様に投資家としてご参画いただけることを大変嬉しく思っています。暗号資産市場がいよいよ機関投資家の時代へと移りつつある中で、同じ方向を向いてファンドの価値向上を目指すパートナーを迎えられることは、私たちにとっても大きな励みです。

gumi の Web3 に関する知見と SBI グループの金融インフラを掛け合わせた本ファンドは、国内でも特色ある取り組みの一つであると考えています。今後は、enish 様との協業を通じて Web3 エコシステムの発展や新たな価値創出にも取り組み、ご出資いただいた皆様の期待に応えてまいります。」

6. 今後の見通し

本件による 2026 年 12 月期の当期業績への影響は現時点で軽微であります。今後、公表すべき事項が生じた場合には、速やかにお知らせいたします。

以 上